

警 察 本 部

1. 部総括表

部名：警察本部
(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
10-1	警務部	(90, 204) 6, 346, 434	(74, 621) 6, 148, 258	80, 608	(15, 583) 117, 568	
10-2	生活安全部	(62, 856) 7, 737, 210	(54, 707) 7, 600, 537	23, 052	(8, 149) 113, 621	
10-3	刑事部	4, 038, 282	3, 994, 408		43, 874	
10-4	交通部	(218, 919) 5, 662, 059	(218, 315) 5, 518, 320	71, 767	(604) 71, 972	
10-5	警備部	(2, 500) 2, 139, 516	(2, 198) 2, 106, 974		(302) 32, 542	
	部計	(374, 479) 25, 923, 501	(349, 841) 25, 368, 497	175, 427	(24, 638) 379, 577	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：警務部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-1-1	警察活動感染防止対策事業	14	14			主要施策の成果の概要(10-1-1)に記載
10-1-2	警察施設整備事業	138,199	137,769		430	主要施策の成果の概要(10-1-2)に記載
10-1-3	犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業	14,768	14,273		495	主要施策の成果の概要(10-1-3)に記載
10-1-4	公安委員会運営費	6,992	6,916		76	公安委員会の運営に要する経費 公安委員報酬 6,612
10-1-5	給与費	3,965,195	3,920,743		44,452	警務部職員の給与費 給料1,680,787、職員手当等1,632,026、共済費607,930
10-1-6	一般事務費	49,064	42,893		6,171	警察署協議会委員報酬等の警察運営に要する経費
10-1-7	庁舎等管理費	(90,204) 844,027	(74,621) 732,484	80,608	(15,583) 30,935	警察施設の維持及び補修に要する経費
10-1-8	被服調製費	176,959	174,048		2,911	警察官に支給する制服等に要する経費
10-1-9	福利厚生費	55,238	49,375		5,863	職員の健康診断、疾病予防等に要する経費
10-1-10	情報化の推進	654,694	647,590		7,104	電子計算機を利用した事務の効率化・能率化に要する経費
10-1-11	行財政改革の推進	8,343	8,337		6	事務事業を見直し、合理化を図る経費
10-1-12	坂出警察署整備(維持管理経費)	18,105	16,378		1,727	坂出警察署整備に伴う維持管理に要する経費
10-1-13	警察車両の整備	26,630	25,970		660	警察車両の計画的な更新に要する経費
10-1-14	警察車両等維持管理費	185,965	177,484		8,481	警察車両及び警察船の燃料費、修繕料等の維持管理に要する経費
10-1-15	装備、給貸与品整備費	6,514	6,374		140	給貸与品及び装備品等の維持管理、整備等に要する経費
10-1-16	恩給及び退職年金費	9,043	7,445		1,598	恩給及び遺族扶助に要する経費
10-1-17	一般警察活動費	84,323	82,109		2,214	警察の一般行政の運営及び警察電話の維持等に要する経費
10-1-18	広報活動費	2,979	2,960		19	警察音楽隊等を活用して広報活動の充実を図る経費
10-1-19	警察教養費	14,809	14,751		58	柔剣道等の術科訓練、学校教養や職場教養に要する経費
10-1-20	犯罪被害者支援経費	9,318	8,818		500	犯罪被害者の救護及び支援等に要する経費
10-1-21	国際化対策費	5,596	5,427		169	来日外国人犯罪に対処するための外国語研修等に要する経費

10-1-22	人材確保対策費	3,103	2,300		803	優秀な人材の確保を図るために要する経費
10-1-23	留置施設管理費	66,556	63,800		2,756	留置施設の適正な管理及び留置業務に要する経費
	課計	(90,204) 6,346,434	(74,621) 6,148,258		(15,583) 80,608 117,568	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：警務部

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
警務部	(3) 411	[2] 59	[2] (3) 470	育児休業16名
合計	(3) 411	[2] 59	[2] (3) 470	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>警察活動感染防止対策事業（10-1-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 感染が拡大する新型コロナウイルス感染症に的確に対応するため、感染リスクの高い作業に係る手当を支給した。</p> <p>2. 具体的内容 新型コロナウイルス感染症にかかる手当（14千円） 感染リスクのある検視業務に従事した職員に対して手当を支給した。</p>	
<p>警察施設整備事業（10-1-2）</p> <p>1. 趣旨・概要 治安情勢に的確に対応し、地域住民の安全・安心を確保するとともに、警察活動を支える基盤の充実を図るため、老朽化・狭隘化している坂出警察署の整備や老朽化の著しい警察施設の改修等を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 坂出警察署整備事業（108,970千円） 旧本館南棟解体及び外構造成工事を実施・完了した。</p> <p>(2) 警察施設改修等事業（28,799千円） 郷東地区自動排水ポンプ施設スクリーン更新工事を実施したほか、さぬき警察署機械室改修工事及び丸亀警察署多度津交番変圧器更新等を実施した。</p>	<p>県民の期待と信頼に応える力強い警察を構築するため、警察活動を支え、地域の拠点となる警察署の整備やその他警察施設の改修等を推進した。</p>
<p>犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業 （10-1-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民に身近な犯罪を抑止し、安全で安心な地域社会を実現するため、地域住民等との協働活動を通じた自主防犯意識の高揚や防犯環境の整備を図り、地域社会が一丸となって、犯罪の起きにくい社会づくりを推進した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) サイバー事案対処能力強化事業（1,513千円） 重大なサイバー事案発生時に的確に対処するため、サイバー事案対応に特化した民間研修を捜査員に受講させた。</p> <p>(2) 県民の安全・安心を守る警察スマート化事業 （12,760千円） 警察から発信する情報を「いつでも、どこでも、見やすく、役に立つ」ものにするため、当該情報を一元的に提供するスマートフォン対応のアプリを開発した。</p>	<p>民間企業が実施する高度な研修を受講し、捜査員のサイバー事案に対する対処能力が向上した。</p> <p>県警から提供している情報に容易にアクセスできるスマートフォン用のアプリを開発することで、地図情報やメール機能等により、犯罪や交通事故等の情報を一元的かつ迅速に県民に提供する環境整備を図った。</p>

2. 課総括表

課名：生活安全部
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-2-1	犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業	64,284	61,119		3,165	主要施策の成果の概要(10-2-1)に記載
10-2-2	警察施設整備事業(交番・駐在所の整備等事業)	(62,856) 101,980	(54,707) 70,779	23,052	(8,149) 8,149	主要施策の成果の概要(10-2-2)に記載
10-2-3	風俗営業等事務費	7,436	6,479		957	風俗営業や銃砲所持等の許認可等に要する経費
10-2-4	給与費	7,246,466	7,165,976		80,490	生活安全部職員の給与費 給料3,048,353、職員手当等 3,010,937、共済費1,106,686
10-2-5	通信指令システム維持等管理費	212,592	207,077		5,515	110番通報、緊急配備等通信指令業務の運用に要する経費
10-2-6	地域安全活動等経費	68,331	54,188		14,143	地域活動及び地域警察の運営等に要する経費
10-2-7	生活安全活動費	32,553	31,933		620	特別法令違反の捜査や検挙等に要する経費
10-2-8	少年非行防止対策費	3,568	2,986		582	少年非行防止活動等に要する経費
	課計	(62,856) 7,737,210	(54,707) 7,600,537	23,052	(8,149) 113,621	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R6. 3. 31現在)

課名：生活安全部

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
生活安全部	(2) 756	[1] (2) 87	[1] (4) 843	育児休業16名、休職2名
合計	(2) 756	[1] (2) 87	[1] (4) 843	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																								
<p style="text-align: center;">事業の実施状況</p> <p style="text-align: center;">犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業 (10-2-1)</p> <p>1. 趣旨・概要 県民に身近な犯罪を抑止し、安全で安心な地域社会を実現するため、地域住民等との協働活動を通じた自主防犯意識の高揚や防犯環境の整備を図り、地域社会が一丸となって、犯罪の起こりにくい社会づくりを推進した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 「STOP！特殊詐欺」被害防止対策プラン (18,731千円) 悪質・巧妙化する特殊詐欺の被害を防止するため、電話着信時に相手方へ警告メッセージが自動で流れる振り込め詐欺撃退装置の体験貸出や、業務委託したコールセンターから県民への直接架電による注意喚起等、高齢者を中心とした幅広い層の県民に対して直接働きかける予防活動を展開するとともに、防犯アドバイザーが県内の金融機関等を個別訪問し、従業員に対して特殊詐欺の手口や来店客への声掛け要領等を指導することで水際対策を強化するなど、効果的な特殊詐欺対策を推進した。</p> <p>(2) 地域安全かがわ創造プログラム推進事業 (32,012千円) 初動体制、夜間体制及び機動力等の警察機能及び地域住民との連携を強化するため、高松北警察署管内の直島東、直島西駐在所を統合し直島駐在所として整備したほか、東かがわ警察署管内の引田交番と小海駐在所の統合整備に着手した。</p> <p>(3) 安全・安心まちづくりを推進する防犯カメラ設置促進事業 (6,669千円) 安全で安心なまちづくりを推進するため、4市1町16自治会等に対して、防犯カメラの設置に係る初期費用の一部を補助(52基)し、地域の防犯環境を整備するなど、防犯に向けた地域の自主的な取組を推進した。</p> <p>(4) 自主的な地域安全活動の充実等事業 (3,396千円) 地域の自主防犯活動に対する帽子やベスト等の物品を貸与するとともに、学生ボランティア等による活動を支援した。また、県警察本部や各警察署と地域住民が協働し、地域の実情に応じた各種防犯教室等を頻回に開催することにより、県下一円で各種団体に対して防犯意識・知識の向上を図るなど、犯罪抑止に向けた啓発を推進した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>刑法犯認知件数(暦年)(再掲)(件)</p> <table border="1" data-bbox="959 309 1422 454"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,543</td> <td>5,761</td> <td>4,000以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>重要犯罪検挙率(暦年)(%)</p> <table border="1" data-bbox="959 533 1422 678"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>105.1</td> <td>98.4</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>サイバー犯罪の検挙件数(暦年)(件)</p> <table border="1" data-bbox="959 757 1422 902"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>125</td> <td>182</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>特殊詐欺被害総額(暦年)(再掲)(万円)</p> <table border="1" data-bbox="959 1014 1422 1160"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,321</td> <td>20,777</td> <td>7,000以下</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	4,543	5,761	4,000以下	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	105.1	98.4	100.0	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	125	182	150	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	8,321	20,777	7,000以下
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																							
4,543	5,761	4,000以下																							
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																							
105.1	98.4	100.0																							
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																							
125	182	150																							
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																							
8,321	20,777	7,000以下																							

(5) かがわマナーアップリーダーズ活動支援事業 (311 千円)
 非行防止キャンペーン等に主体的に取り組む中学生
 3,961 人を「かがわマナーアップリーダーズ」に任命し、
 リーダーズが主体となった非行防止キャンペーンや広報
 啓発用グッズ作成のほか、環境美化活動等の取組を支援す
 ることで、若者世代はもとより社会全体の規範意識の向上
 を図った。

警察施設整備事業 (10-2-2)

1. 趣旨・概要

県民が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、
 老朽化が著しい交番・駐在所を計画的に建て替え、地域安全
 の拠点としての機能を強化し、警察活動を支える基盤の整備
 を行った。

2. 具体的内容

交番・駐在所の整備等事業 (70,779 千円)

小豆警察署坂手駐在所の整備に着手するとともに、高松北
 警察署香西交番の整備を完了した。

(単位：千円)

施設名	所在地	構造	事業費
小豆警察署 坂手駐在所	小豆郡 小豆島町	木造 2 F	16,072
高松北警察署 香西交番	高松市 香西本町	木造 2 F	54,707

県民の期待と信頼に応える力強い警
 察を構築するため、第一線の警察活動
 を支える交番・駐在所の整備を推進し
 た。

2. 課総括表

課名：刑事部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-3-1	給与費	3,704,083	3,662,601		41,482	刑事部職員の給与費 給料1,593,716、職員手当等 1,490,464、共済費578,421
10-3-2	初動捜査体制 等の強化	164,106	162,959		1,147	捜査活動を支援する装備資機材 等の整備に要する経費
10-3-3	犯罪捜査活動 費	59,981	59,780		201	刑法犯等の犯罪の捜査や検挙に 要する活動経費
10-3-4	銃器犯罪対策 費	607	487		120	銃器犯罪等の捜査に要する経費
10-3-5	暴力団対策費	6,456	6,373		83	暴力団の取締り等の暴力団対策 に要する経費
10-3-6	鑑識捜査活動 費	103,049	102,208		841	犯罪現場等における鑑識活動及 び鑑定業務に要する経費
	課計	4,038,282	3,994,408		43,874	

3. 職員数の状況 (R6. 3. 31現在)

課名：刑事部

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
刑事部	(3) 393	13	(3) 406	育児休業 5 名
合計	(3) 393	13	(3) 406	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を（ ）外書きにより記載。

2. 課総括表

課名：交通部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-4-1	交通死亡事故抑止総合対策事業（体系的な交通安全教育の推進）	50,303	49,522		781	主要施策の成果の概要（10-4-1）に記載
10-4-2	交通死亡事故抑止総合対策事業（交通安全施設の整備）	(218,919) 1,308,292	(218,315) 1,233,274	71,767	(604) 3,251	主要施策の成果の概要（10-4-2）に記載
10-4-3	交通死亡事故抑止総合対策事業（交通指導取締りの強化）	1,518	1,485		33	主要施策の成果の概要（10-4-3）に記載
10-4-4	給与費	3,239,935	3,202,247		37,688	交通部職員の給与費 給料1,383,679、職員手当等 1,326,627、共済費491,941
10-4-5	交通安全施設等維持費	299,825	286,438		13,387	信号機等交通安全施設の維持管理に要する経費
10-4-6	反則金徴収事務費	4,227	3,592		635	交通違反に係る反則金の徴収事務に要する経費
10-4-7	車庫証明事務費	122,136	118,937		3,199	自動車保管場所証明事務に要する経費
10-4-8	運転免許費	537,742	526,851		10,891	運転免許試験や免許証の更新事務等運転免許行政に要する経費
10-4-9	放置駐車違反對策費	41,153	40,559		594	違法駐車対策に要する経費
10-4-10	交通指導取締費	39,528	38,016		1,512	交通指導取締りに必要な活動費及び取締り機材の維持管理に要する経費
10-4-11	交通対策費	17,400	17,399		1	交通渋滞、交通規制等の情報提供による円滑な交通と交通安全の両立に要する経費
	課計	(218,919) 5,662,059	(218,315) 5,518,320	71,767	(604) 71,972	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：交通部

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
交通部	(5)321	71	(5)392	育児休業6名、休職3名
合計	(5)321	71	(5)392	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
<p>交通死亡事故抑止総合対策事業</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>交通死亡事故の減少を目指し、県民一人ひとりに届く交通安全教育の推進、関係機関・団体等と連携した交通事故の起こりにくい道路交通環境の整備、交通事故抑止に資する交通指導取締りの強化等、総合的な交通安全対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 体系的な交通安全教育の推進（10-4-1） (49,522千円)</p> <p>令和4年の交通事故死者数の約7割を高齢者が占めている実態を踏まえ、高齢者に重点を置きつつ、各年齢層、歩行者、自転車利用者、自動車運転者等、それぞれの立場や交通手段に応じたきめ細かな交通安全教育や啓発活動を推進し、規範意識の向上を図った。</p> <p>①交通安全教育推進体制の充実等事業（5,028千円）</p> <p>(i) 全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用努力義務化を踏まえ、自転車利用者に乗車用ヘルメット着用を図るための交通安全教育と広報啓発活動を推進した。</p> <p>(ii) 交通安全意識の向上を図るため、各市町事故分析資料等を活用した広報啓発活動を実施した。</p> <p>(iii) 各種交通安全ボランティア活動を支援するため、公安委員会が委嘱する地域交通安全活動推進委員に対する研修の実施や活動に必要な資機材の整備等を実施した。</p> <p>②交通安全教育推進隊事業（23,745千円）</p> <p>各年齢層に対する交通安全教育の充実のため、交通安全教育推進隊による交通安全教育車等を活用した出前型、参加・体験・実践型の交通安全教育を実施した。</p> <p>③高齢者交通安全ガイド事業（20,749千円）</p> <p>交通事故に遭う可能性の高い高齢者を対象とした高齢者交通安全ガイドの訪問指導により、高齢者の交通手段に応じたきめ細かな交通安全教育を行うことで高齢者の交通事故抑止を図った。</p> <p>(2) 交通安全施設の整備（10-4-2）(1,233,274千円)</p> <p>交通事故が多発する交差点や夜間の事故を防止するため、道路標識・標示の高輝度・カラー化、信号機の高度化等を進めたほか、交通管制システムの高度化による信号制御の最適化及び適切な交通情報の提供、道路標識・標示の新設・更新等、交通安全施設の重点的かつ効果的な整備を図った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>交通事故死者数（暦年）（再掲）（人）</p> <table border="1" data-bbox="970 315 1426 472"> <thead> <tr> <th>基準値 （R2）</th> <th>実績値 （R5）</th> <th>目標値 （R7）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59</td> <td>33</td> <td>39以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>交通事故重傷者数（暦年）（再掲）（人）</p> <table border="1" data-bbox="970 595 1426 752"> <thead> <tr> <th>基準値 （R2）</th> <th>実績値 （R5）</th> <th>目標値 （R7）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>269</td> <td>267</td> <td>200以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>高齢者人口10万人当たりの交通事故による高齢者死者数（暦年）（再掲）（人）</p> <table border="1" data-bbox="970 954 1426 1111"> <thead> <tr> <th>基準値 （R2）</th> <th>実績値 （R5）</th> <th>目標値 （R7）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.4</td> <td>7.3</td> <td>7.4以下</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 （R2）	実績値 （R5）	目標値 （R7）	59	33	39以下	基準値 （R2）	実績値 （R5）	目標値 （R7）	269	267	200以下	基準値 （R2）	実績値 （R5）	目標値 （R7）	14.4	7.3	7.4以下
基準値 （R2）	実績値 （R5）	目標値 （R7）																	
59	33	39以下																	
基準値 （R2）	実績値 （R5）	目標値 （R7）																	
269	267	200以下																	
基準値 （R2）	実績値 （R5）	目標値 （R7）																	
14.4	7.3	7.4以下																	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>①補助事業（625,179千円）</p> <p>（i）信号機の高度化、老朽化に伴う更新改良等 （447,432千円）</p> <p>（ii）交通情報板、信号機電源付加装置等の整備 （69,190千円）</p> <p>（iii）交通管制センターの高度化更新等 （108,557千円）</p> <p>②県単事業（608,095千円）</p> <p>（i）交差点事故を抑止するための道路標識・標示の 輝度・カラー化整備（81,832千円）</p> <p>（ii）現地診断箇所における施設整備（478千円）</p> <p>（iii）道路標識・標示の更新等（264,189千円）</p> <p>（iv）道路の新設改良に伴う交通安全施設の整備 （140,985千円）</p> <p>（v）自転車の通行環境整備（5,032千円）</p> <p>（vi）交通安全施設の移設（115,579千円）</p> <p>（3）交通指導取締りの強化（10-4-3）（1,485千円） 交通事故の発生状況や県民からの取締り要望を踏まえつつ、依然として後を絶たない飲酒運転等の悪質・危険な交通違反や重大交通事故に直結する信号無視等の交差点関連違反の取締りを強化するほか、自転車利用者による交通違反に対しては、積極的な指導警告や検挙措置を講じることで自転車交通秩序の維持を図った。</p> <p>（4）県民の安全・安心を守る警察スマート化事業 （10-4-4）（12,760千円）（再掲）</p>	

2. 課総括表

課名：警備部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-5-1	給与費	1,709,600	1,690,444		19,156	警備部職員の給与費 給料739,373、職員手当等 682,561、共済費268,510
10-5-2	航空隊運営管理費	379,838	376,748		3,090	警察ヘリコプターの運用等に要する経費
10-5-3	一般警察活動費	4,104	3,812		292	警備部の一般事務に要する経費
10-5-4	地域安全活動費	(2,500) 45,974	(2,198) 35,970		(302) 10,004	災害発生時における情報収集や被災者の救護等の現場活動に要する経費
	課計	(2,500) 2,139,516	(2,198) 2,106,974		(302) 32,542	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：警備部

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
警備部	(2)182	2	(2)184	育児休業2名
合計	(2)182	2	(2)184	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。